

化学物質管理の取組

ガラス原料の環境負荷物質の削減	鉛ガラスの無鉛化の開発を実施。清澄剤としてのフッ素は止めた。酸化アンチモン、亜ヒ酸は削減の研究開発実施中。
高温による飛散抑制	電気溶融を併用することで、表面温度が下がり、ガラス表面からの化学物質の飛散を抑える効果が有る。
ガラス溶融炉	酸素燃焼方式を採り入れることで排ガス量を減らせる。